

京都大学文学研究科 博士後期課程修了生アンケート 集計結果

平成 30 年 3 月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・修了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。平成 29 年度の博士後期課程修了生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

今年度は修了生 36 名に対して、30 名より回答を得ることができ、回答率は 83.3%に達した。

多くの設問では回答傾向は例年と大きくは変わらない。(Q.04)「京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？」については、83.3%の方が、自学自習の能力が「充分」または「ある程度」養われるような形で行われていると回答している。また、(Q.07)「文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。」では、「A. 専門的知識」「B. 専門分野の研究能力」「C. 自分で問題を発見し、解決を図る能力」の三つが上位を占めていた。これらは、研究者としての基本的能力を養う教育、さらに本研究科の教育の特長をよく表している。

また、(Q.05)「あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？」では、90.0%の方が「充分」または「それなり」に「満足している」と回答しており、昨年度同様、本研究科の教育に対する満足度の高さが窺われる。

さらに、文学部のディプロマ・ポリシーの達成状況について尋ねたところ (Q.09-12)、「達成できた」・「ある程度達成できた」を合わせると、(Q.09)「それぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事する能力を身につけている」が 76.7%、(Q.10)「それぞれの専門分野において、原典や一次資料の分析に基づいてオリジナリティを有する研究を進める能力を身につけている」が 90.0%、(Q.11)「専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている」が 90.0%と、達成状況が高いことを示しているが、(Q.12)「研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている」については 66.7%と少し低めになっており、今後の教育に工夫が必要と思われる。

【自由記述欄】

(Q. 13)「その他意見・要望がありましたら、ご自由にお書きください。」

・海外の大学ではダブルメジャー制度を導入しているところもあると聞く。ダブルメジャー制度を導入することで、博士後期課程進学者の就職にも何らかの糸口が見つかるかもしれない。カリキュラムの編成などは難しいと思うが、将来的にダブルメジャー乃至、それに近

い制度が導入されることで、私のように本当にしたい職につけない学生が減ることを望む。

アンケート名 平成29年度博士後期課程修了者アンケート

部局 文学研究科

対象者数 36

回答者数 30

回答率 83.3

結果 (Q.01) あなたが修士課程を終えた大学についてお聞きします。

- A: 京都大学大学院文学研究科 (23票/76.7%)
- B: 京都大学の他研究科 (0票/0%)
- C: 京都大学以外の日本国内の大学 (4票/13.3%)
- D: 日本以外の大学 (3票/10%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)



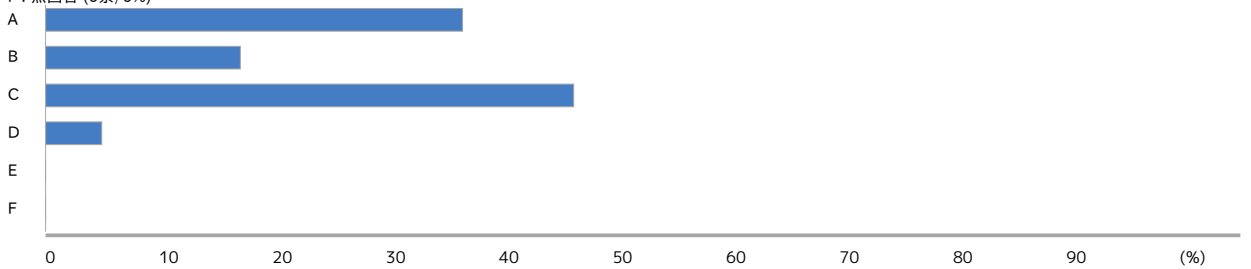
(Q.02) あなたが博士後期課程で学ぶことを決めたのはいつ頃でしたか？

- A: 学部入学後 (5票/16.7%)
- B: 4回生になってから (7票/23.3%)
- C: 修士課程進学後 (11票/36.7%)
- D: 修士論文作成中 (5票/16.7%)
- E: 修士課程修了後、社会に出てから (1票/3.3%)
- F: その他 (1票/3.3%)
- G: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) 博士後期課程で学ぶ動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）

- A: 修士課程で選んだテーマの研究をより深めたいと思った。(15票/34.9%)
- B: 博士後期課程での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。(7票/16.3%)
- C: 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。(19票/44.2%)
- D: 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。(2票/4.7%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としていますこれに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？

- A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。(12票/40%)
- B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。(13票/43.3%)
- C: どちらとも言えない。(2票/6.7%)
- D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。(2票/6.7%)
- E: その他 (1票/3.3%)
- F: 無回答 (0票/0%)

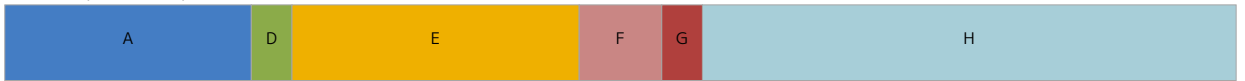


(Q.05) あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？

- A: 十分に満足している。(17票/56.7%)
- B: それなりに満足している。(10票/33.3%)
- C: どちらとも言えない。(3票/10%)
- D: 後悔している。(0票/0%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)

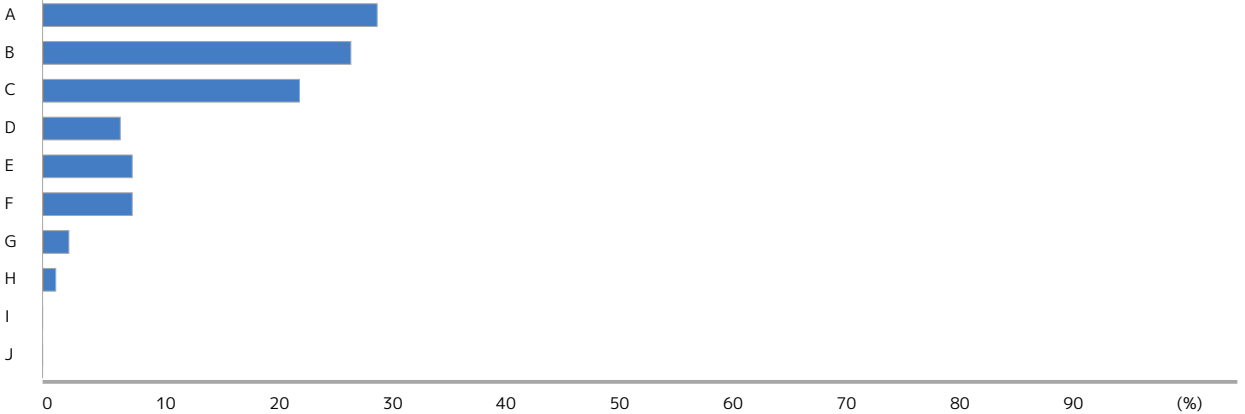


- (Q.06) 4月以降の進路についてお聞きします。
 A: 大学・研究所等の研究(教育)機関に就職(6票/20%)
 B: 一般企業に就職(0票/0%)
 C: 官庁、地方自治体等に就職(0票/0%)
 D: 教員、司書等の専門職に就職(1票/3.3%)
 E: 日本学術振興会特別研究員(7票/23.3%)
 F: 研修員(2票/6.7%)
 G: その他(1票/3.3%)
 H: 無回答(13票/43.3%)



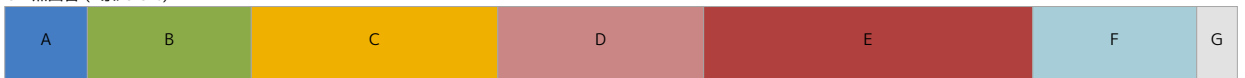
(Q.07) 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。(複数回答可)

- A: 専門的知識(26票/28%)
 B: 専門分野の研究能力(24票/25.8%)
 C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力(20票/21.5%)
 D: 一般的な教養(6票/6.5%)
 E: 国際感覚(7票/7.5%)
 F: 外国語の能力(7票/7.5%)
 G: リーダーシップ(2票/2.2%)
 H: 社会的常識(1票/1.1%)
 I: その他(0票/0%)
 J: 無回答(0票/0%)



(Q.08) 差し支えなければ、あなたが属していた専攻を教えてください。

- A: 東洋文献文化学(2票/6.7%)
 B: 西洋文献文化学(4票/13.3%)
 C: 思想文化学(6票/20%)
 D: 歴史文化学(5票/16.7%)
 E: 行動文化学(8票/26.7%)
 F: 現代文化学(4票/13.3%)
 G: 無回答(1票/3.3%)



(Q.09) 以下、Q.09からQ.12で、文学研究科のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えて下さい。

哲学・歴史学・文学・行動科学のそれぞれの専門分野において、専門的研究者として自立できる研究能力と、指導的な高度専門職業人としての能力を身につけている。

- A: 達成できた(11票/36.7%)
 B: ある程度達成できた(12票/40%)
 C: どちらとも言えない(6票/20%)
 D: あまり達成できなかった(1票/3.3%)
 E: 達成できなかった(0票/0%)
 F: 無回答(0票/0%)



(Q.10) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の高度な分析に基づいてオリジナリティの高い研究を進めるとともに、研究の成果と学術的意義を適切に把握する能力を身につけている。

- A: 達成できた(14票/46.7%)
 B: ある程度達成できた(13票/43.3%)
 C: どちらとも言えない(2票/6.7%)
 D: あまり達成できなかった(1票/3.3%)
 E: 達成できなかった(0票/0%)
 F: 無回答(0票/0%)



(Q.11) 専門家としての強い責任感と高い倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。

- A: 達成できた (18票/60%)
- B: ある程度達成できた (9票/30%)
- C: どちらとも言えない (2票/6.7%)
- D: あまり達成できなかった (0票/0%)
- E: 達成できなかった (0票/0%)
- F: 無回答 (1票/3.3%)



(Q.12) 研究成果を世界に向けて積極的に発信するとともに、国際的な連携のもとで研究を推進する能力を身につけている。

- A: 達成できた (8票/26.7%)
- B: ある程度達成できた (12票/40%)
- C: どちらとも言えない (5票/16.7%)
- D: あまり達成できなかった (3票/10%)
- E: 達成できなかった (2票/6.7%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.13) その他意見・要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- 回答無し